

# 未来を担う若者と共創する パラスポーツの魅力発信プロジェクト

飲料を中心に多角的な事業を展開するグローバルカンパニー、サントリーホールディングス株式会社。同社は芸術・文化・学術、スポーツ、社会福祉の分野を中心に社会貢献活動にも力を入れており、2014年にはパラスポーツを「チャレンジド・スポーツ」と捉え、「サントリー チャレンジド・スポーツ プロジェクト」を創設。さらに昨秋からは大学生とともにパラスポーツの魅力を発信する「パラスポデザインカレッジ」を開始するなど、パラスポーツの国内振興に対して様々な取り組みを展開している。



## サントリーホールディングス株式会社 SUNTORY



体験会・講習会



ボランティア



協賛



アスリート雇用

### 企業情報

サントリーホールディングス株式会社

【担当部署】CSR推進部

【住所】〒135-8631 東京都港区台場2-3-3

【URL】<https://www.suntory.co.jp/culture-sports/challengedsports/>



原点にあるのは「やってみなはれ」と「利益三分主義」

「サントリー チャレンジド・スポーツ プロジェクト」は、同社創業時より受け継がれる2つの精神を原点に誕生した。1つめは「やってみなはれ」という、現状に満足せず挑戦する心。もう1つは「利益三分主義」。事業で得た利益は、自社への再投資にとどまらず、取引先への還元や社会貢献にも役立てようという考え方だ。



榎氏

「パラスポーツを軸に、障がいを受けた方がスポーツを通じて困難を乗り越えたり、生きがいを見つけたり。そして、スポーツをきっかけに社会へ挑戦する機会を得られるようお手伝いをしたいと考えています」  
こう話すのは、同社CSR推進部の榎悠里氏。「パラスポデザインカレッジ」を現場でとりまとめる中心者でもある。

「パラスポーツを取り組みやすくするためには、競技人口の増加はもちろんパラスポーツへの理解も大切ですから。人と人の輪を広げることに注力して活動をしています。」(榎氏)

### 学生との共創で夢に挑む 「パラスポデザインカレッジ」

2021年10月に第1期がスタートした「パラスポデザインカレッジ」は、次世代を担う若者と共につくっていくという発想から誕生。パラスポーツを切り口に、大学生が共生社会について自ら考えアクションを起こし発信していく、1年間にわたるプロジェクトだ。

学生メンバーは10名。看護や福祉、スポーツ系の学生だけではなく、一般的な4年制大学の文系、理系の学生など多種多様なメンバーが集まった。

発足の原点にあったのは、「共に」夢に挑もうという思い。ダイバーシティ社会を迎えた今、これからの未来を担う若者と一緒にアスリートのサポートをすることで、パラスポーツのより良い未来を創造できるのではないかと。

その理念で集まった学生たちの熱意は、想像を超えていたという。



学生による選手インタビューの様子

「私たちが鼓舞されることもあるくらいですね。学生さんたちは、物おじせず積極的に質問してくれますし、驚きとともに嬉しさを感じます。また、本音で語り合うからこそ選手との一体感が生まれ、アスリートから『ぜひまた来てください』と言ってもらえると、これぞあるべき姿だなと私自身感じます。」(榎氏)

### 自由に考え意見できるような関係性を



橋爪課長

「特に学生さんがよく話すことは、周りの方々に伝えたい、こういう社会が来ることを僕らの世代は大切にしたい、といったことです。自分自身だけで完結するのではなく、周りに広げていきたいという思いにも彼らの意欲の高さを感じます。私たちも弊社社員を交流させて、その輪をいっそう広げたいと考えています。」と語るのはCSR推進部の橋爪崇課長。

学生たちが携わるのはLIVE配信やインタビューだけではなく、企画立案から取材交渉まで自ラ行い、撮影も行う。さらにはそれらの見せ方に関しても、積極的に意見を出してくれるとか。

「実現が難しい企画があってもすぐに無理というのではなく、可能性を探りつつ、自由に考え意見できるような関係性をつくれるよう意識しています。また、企画が通った後の私たちの仕事は、全力で支援しながら思いを形

にすることです。そうやって学生さんたちと共にネットワークの輪を広げ、これまでにないアウトプットを発信していきたいですね」(橋爪課長)

大イベントも含め、一つひとつの経験を今後の活動に生かしながら、よりよいゴールへ向かえるようにしていきたいと榎氏と橋爪課長は言う。



企画を出し合う様子

「パラスポデザインカレッジ」は現在第1期で、その活動期間は2022年9月30日まで。今後も活動を発展させ、よりよいダイバーシティ社会を実現していくために、これからもサントリーの「やってみなはれ」は続いていく。



### 今後の取組について

ダイバーシティ社会の実現への寄与を目的とした「サントリー チャレンジド・スポーツ プロジェクト」は、東日本大震災被災地(岩手・宮城・福島県)を中心に展開してきたが、今後は全国拡大を視野に活動しパラスポーツの価値を発信していく。